滋賀県文化振興基本方針の施策の実施状況の検証・評価

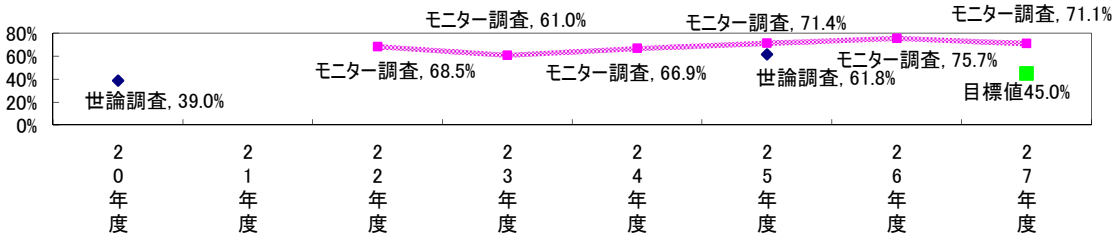
滋賀県文化振興基本方針　評価指標

平成28年3月末現在

資料1

	評価項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成27年度（目標）
重点施策1：自立的な文化活動の促進									
①	1年間に文化創作活動を行ったことのある県民の割合	39.0%(平成20年度県政世論調査)	68.5%（県政モニター調査）	61%（県政モニター調査）	66.9%（県政モニター調査）	61.8%（県政世論調査）71.4%（県政モニター調査）	75.7%（県政モニター調査）	71.1%（県政モニター調査）	45.0%
②	民間団体等が主催する文化・芸術行事への県の後援件数	260件	248件	266件	251件	265件	282件	283件	300件
重点施策2：文化活動の環境の整備									
③	1年間に芸術文化を鑑賞したことのある県民の割合	79.1%(平成20年度県政世論調査)	85.1%（県政モニター調査）	68.8%（県政モニター調査）	68.9%（県政モニター調査）	66.6%（県政世論調査）77.3%（県政モニター調査）	80.1%（県政モニター調査）	74.6%（県政モニター調査）	82.0%
④	1年間に文化創作活動を行ったことのある県民の割合【再掲】	39.0%(平成20年度県政世論調査)	68.5%（県政モニター調査）	61%（県政モニター調査）	66.9%（県政モニター調査）	61.8%（県政世論調査）71.4%（県政モニター調査）	75.7%（県政モニター調査）	71.1%（県政モニター調査）	45.0%
重点施策3：子どもが本物の文化に触れる機会の充実									
⑤	(各県立文化ホール・近代美術館の実施事業において)芸術鑑賞した小中学生数	24,640人	23,683人	26,593人	26,298人	27,543人	26,590人	27,035人	30,000人
⑥	文化・芸術の体験学習を行う児童生徒数	8,949人	11,135人	11,060人	11,651人	11,901人	10,230人	11,609人	14,000人
⑦	滋賀の水、山に関わる文化の体験学習を行う小学校数	全校	全校	全校	全校	全校	全校	全校	全校
⑧	しがこども体験学校参加団体数	80団体	93団体	109団体	117団体	127団体	134団体	139団体	100団体
重点施策4：若手芸術家等の育成・支援									
⑨	滋賀県芸術文化祭（文学祭、美術展、写真展）における若者（30歳未満）の参加者数	66人（3.2%）	96人（4.7%）	99人（4.9%）	57人（3.0%）	54人（2.9%）	41人（2.0%）	83人（4.0%）	200人
⑩	滋賀県高等学校総合文化祭の参加者数	4,466人	4,671人	4,590人	4,792人	4,821人	6,677人	4,476人	4,600人
重点施策5：文化活動を支える人材（アートマネージャー等）の育成・支援									
⑪	アートマネージメント研修の受講者数	123人	101人 累積224人	166人 累積390人	106人 累積496人	114人 累計610人	153人 累計763人	216人 累計979人	累積800人
⑫	県立文化施設の文化ボランティアの数	650人	623人	648人	637人	634人	576人	549人	700人
重点施策6：滋賀ならではの文化資産の創造									
⑬	国登録有形文化財の数	273件	287件	302件	326件	340件	352件	371件	320件
⑭	平成21年～22年「個性ある地域文化の構築」の施策に満足した県民の割合（県政世論調査結果） 平成23年「地域の伝統文化や、美術や音楽、演劇などの芸術文化に親しめる環境整備」の施策に満足した県民の割合（県政世論調査結果） 平成24年～26年「地域の歴史や文化を活かし、さまざまな芸術文化に親しめるまちづくり」の施策に満足した県民の割合(県政世論調査結果) 平成27年「文化やスポーツを楽しめるまちづくり」の施策に満足した県民の割合(県政世論調査結果)	19.2%	17.3%	32.6%	36.9%	35.9%	34.9%	30.9%	34.5%
重点施策7：滋賀の新たな文化資産の創造									
⑮	県立文化ホールの自主事業入場者数	119,155人	132,998人	127,103人	126,800人	139,043人	123,751人	113,463人	140,000人
⑯	県内に居住する芸術家の数（国勢調査）	2,326人（平成17年度）	－	－	－	2,720人（平成22年度）	－	集計：平成29年12月頃	2,500人
⑰	平成21年～22年「個性ある地域文化の構築」の施策に満足した県民の割合（県政世論調査結果） 平成23年「地域の伝統文化や、美術や音楽、演劇などの芸術文化に親しめる環境整備」の施策に満足した県民の割合（県政世論調査結果） 平成24年～26年「地域の歴史や文化を活かし、さまざまな芸術文化に親しめるまちづくり」の施策に満足した県民の割合(県政世論調査結果) 平成27年「文化やスポーツを楽しめるまちづくり」の施策に満足した県民の割合(県政世論調査結果)【再掲】	19.2%	17.3%	32.6%	36.9%	35.9%	34.9%	30.9%	34.5%
重点施策8：文化による滋賀ブランドの国内外への発信									
⑱	滋賀の文化を誇りとして感じている人の割合（県政モニターアンケート等）	－	87.5%	85.1%	74.3%	93.5%（県政世論調査）81.4%（県政モニター調査）	84.7%	79.5%	90.0%
⑲	新聞（滋賀県版以外）において滋賀県の文化事業に関する記事が掲載された件数	－	－	90件	105件	110件	92件	44件	平成23年度よりも5%向上→95件
⑳	観光客宿泊者数（1月～12月）	286万人	299万人	323万人	296万人	321万人	333万人	集計：平成28年11月頃	330万人（平成26年）

重点施策1	1年間に文化創作活動を行ったことのある県民の割合(①・④)



評価指標の説明	目標値の説明
滋賀県においてどの程度文化創作活動が行われているのかを示す指標。調査における文化創作活動の項目・・・美術、写真、文芸、音楽、ミュージカル・演劇、舞踊、伝統芸能、演芸、メディア芸術、茶道・華道、歴史探訪・伝統行事参加、地域で継承された行事、祭への参加、その他	平成21年度の値より向上させるよう取り組む。27年度に21年度より6ポイント増(毎年1ポイント増)の45%を設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
県政世論調査	―	―	―	61.8%	―	―	45.0%
県政モニター調査	68.5%	61%	66.9%	71.4%	75.7%	71.1%	

出展・調査方法等

平成20年度県政世論調査
4.文化に対する意識の設問「文化創作活動について、下にあげている活動の中で、この1年間にあなた自身が行われた活動に○をつけてください。」において「特にない」「不明・未回答」以外の割合
平成25年度県政世論調査
5.文化に対する意識の設問「文化創作活動について、この1年間にあなた自身がされたことをすべて選んでください。」において「特にない」「不明・未回答」以外の割合

県政世論調査:県内在住満20歳以上の3,000人(選挙人名簿および外国人登録原票より無作為抽出)に対する調査票調査

備考

県政世論調査で文化が調査対象となるのはおおむね5年に1回程度。(平成20年度、平成25年度)
補足資料として、経年変化を把握するため、毎年県政モニターアンケートにおいて同内容の調査を実施。

この指標に関連するデータ

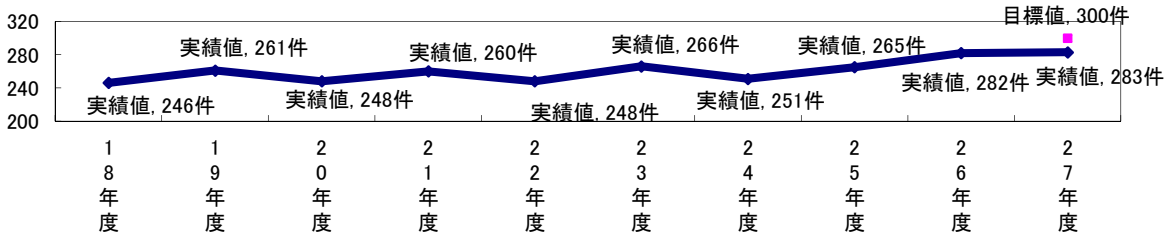
【全国調査】 23%
文化に関する世論調査(平成21年11月内閣府、全国20歳以上の者3000人＜層化2段無作為抽出法＞)による全国調査
(Q5)「あなたがは、この一年間に、鑑賞を除いて、自分で創作・参加したり文化芸術体験を支援するボランティアの活動を行ったりするなど、文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。この中からいくつでもあげてください。」の回答において
(ク)特に行ったことはない 76.1% わからない 0.9%
→23%は何らかの活動を実施していると推定

【滋賀県文化振興事業団による調査】 19.1%
(平成22年9月滋賀県文化振興事業団、滋賀県において20歳以上の者3,000人を対象とした調査)
問14「過去1年間に自分自身が演奏したり、演じたり、創ったりといった文化芸術創造活動の経験はあますか？」の回答において
「特に活動したものはない」 77.2% 不明 3.7%
→19.1%は何らかの活動をしていると推定

指標と連動する施策

- 滋賀県文化振興基金を活用した文化団体の活動支援
- 若者を含め多くの県民が参加できる滋賀県芸術文化祭の開催
- 文化施設以外で、文化・芸術活動が出来る場の情報収集および提供
- 県民参加型事業の展開
- インターネットの文化情報発信サイトの充実
- 文化情報誌等の発行
- 障害者の芸術活動への支援

重点施策1	民間団体等が主催する文化・芸術行事への県の後援件数(②)



評価指標の説明	目標値の説明
文化団体による文化活動がどの程度なされているのか表す指標。文化団体の自主的な活動を支援する取組を実施することにより文化団体の活動が活発になることで数値が向上すると想定して設定。	毎年10件程度の増加を見込み、平成27年度において年間300件を目標に設定。

実績値							目標値
年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
件数	248件	266件	251件	265件	282件	283件	300件

出展・調査方法等

文化振興課において受理している滋賀県知事、滋賀県教育長の後援の件数

備考

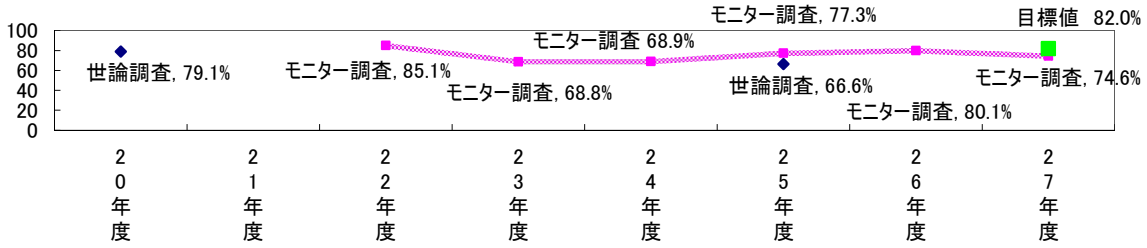
文化情報HP「滋賀文化のススメ」へ後援する行事の情報を掲載することで広報協力している（希望する場合のみ）。

この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

民間団体等が主催する文化・芸術行事への後援、広報協力等

重点施策2	1年間に芸術文化を鑑賞したことのある県民の割合(③)



評価指標の説明	目標値の説明
県民がどの程度文化に触れ親しんでいるのかを表す指標。調査における鑑賞した芸術文化の項目・・・美術、写真、クラシック音楽・オペラ、ポピュラー音楽、ミュージカル・演劇、舞踊、伝統芸能、演芸、メディア芸術、その他	平成21年度の値より向上させるよう取り組む。毎年0.5ポイントの増加を見込み、27年度に21年度より3ポイント増の82%を設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
県政世論調査	―	―	―	66.6%	―	―	82.0%
県政モニター調査	85.1%	68.8%	68.9%	77.3%	80.1%	74.6%	

出展・調査方法等

平成20年度県政世論調査
4.文化に対する意識の設問「芸術文化の鑑賞(テレビ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、下にあげている芸術文化のジャンルの中で、この1年間にあなた自身が直接鑑賞されたものに○をつけてください。」において「特にない」「不明・未回答」以外の割合
平成25年度県政世論調査
5.文化に対する意識の設問「芸術文化の鑑賞(テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、この1年間にあなた自身が鑑賞されたものを選んでください。」において「特にない」「不明・未回答」以外の割合

県政世論調査:県内在住満20歳以上の3,000人(選挙人名簿および外国人登録原票より無作為抽出)に対する調査票調査

備考

県政世論調査で文化が調査対象となるのはおおむね5年に1回程度。(平成20年度、平成25年度)
補足資料として、経年変化を把握するため、毎年県政モニターアンケートにおいて同内容の調査を実施。

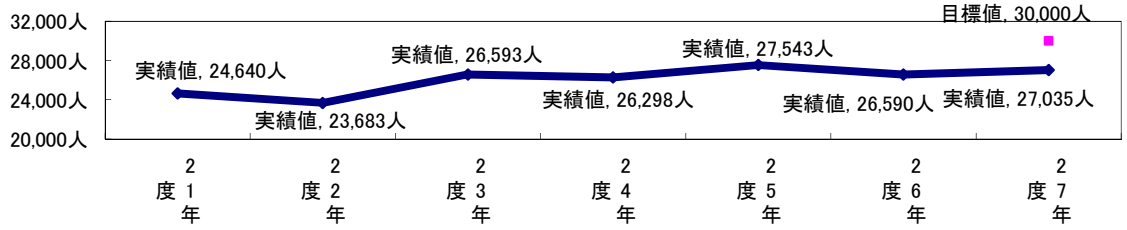
この指標に関連するデータ

【全国調査】 62.8%
文化に関する世論調査(平成21年11月内閣府、全国20歳以上の者3000人＜層化2段無作為抽出法＞)による全国調査
(Q1)あなたが、この1年間に、ホール・劇場、映画館・博物館などに出向いて直接鑑賞した文化芸術は何ですか。この中からいくつでもあげてください。
(コ)鑑賞したものはない 36.9% わからない 0.3%
→上記以外の62.8%は何らかの鑑賞を行ったと推定

指標と連動する施策

- 文化施設以外で、文化・芸術活動が出来る場の情報収集および提供
- 学校、病院等における公演、展示の開催
- 美術館・博物館における高齢者や障害者の観覧料の優遇等による鑑賞の促進
- 幼児、家族向け講演・展示等の充実
- インターネットの文化情報発信サイトの充実
- 文化情報誌等の発行
- 民間団体等が主催する文化・芸術行事への後援、広報協力等

重点施策3	芸術鑑賞した小中学生数(⑤)



評価指標の説明	目標値の説明
各県立ホール、近代美術館において実施する事業において小中学生の芸術鑑賞の実績を示す指標。	平成21年度の値より向上させるよう取組を実施する。 平成21年度より毎年1,000人程度の増加を見込み、30,000人を目標値に設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
実績値	23,683人	26,593人	26,298人	27,543人	26,590人	27,035人	30,000人

出展・調査方法等

以下の施設を利用もしくは事業に参加した小中学生数を集計（平成26年度→平成27年度）
〈近代美術館〉 7,763人 → 5,547人
〈びわ湖ホール〉12,104人 → 10,602人
〈文化振興事業団〉6,723人 → 10,886人

備考

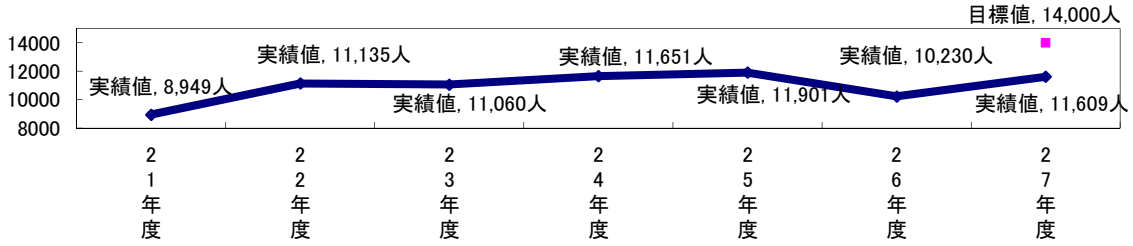
この指標に関連するデータ

平成27年度　滋賀県内における小学生数82,872人(対前年度585人減)　中学生数43,119人(対前年度90人減)
合計125,991人(対前年度675人減)
（全小中学生数に占める芸術鑑賞した小中学生の割合21.5%　対前年度 +0.5%）

指標と連動する施策

- 県立文化ホールにおける青少年向け舞台芸術公演等の開催
- 県立美術館・博物館における青少年向け文化芸術プログラム等の開催
- 幼児、家族向け公演・展示等の充実
- 美術館・博物館における小中学生等の観覧料の優遇等による鑑賞の促進
- 県立文化施設常設展等の定期的な無料開放
- 子ども向け体験プログラムの充実
- 県内の全ての小中学生を対象とした本物の舞台芸術に触れる機会の提供

重点施策3	文化・芸術の体験学習を行う児童生徒数(⑥)



評価指標の説明	目標値の説明
県が実施する事業において、県内小中学生に文化・芸術の体験学習の実施状況を示す指標。	文化・芸術の体験学習実施を促進する施策により、県内小中学校1学年の平均児童生徒数の14,000人程度に文化・芸術体験の機会を提供することを目標として設定

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	11,135人	11,060人	11,651人	11,901人	10,230人	11,609人	14,000人

出展・調査方法等

県が補助金により事業実施を支援しているしが文化芸術学習支援センター（H23年度～滋賀次世代文化芸術センター）において実施している連携授業を体験した生徒数（延べ）

備考

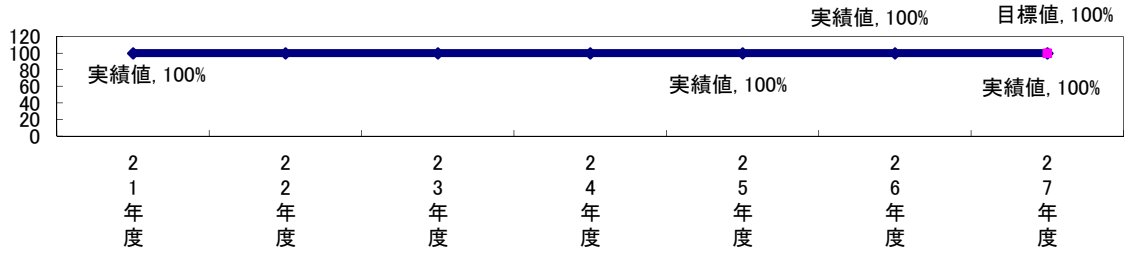
この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

学校における文化施設、芸術家等との連携による文化・芸術体験学習の実施

文化・芸術を体験する教員向け研修機会の提供

重点施策３	滋賀の水・山に関わる文化の体験学習を行う小学校数(⑦)



評価指標の説明	目標値の説明
県が実施している子どもたちが滋賀の豊かな伝統文化や生活文化に触れ、体験する施策の取組状況を表す指標。	各事業ともほぼ全校で実施されていることから、現状の取組を継続していく。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	全校	全校	全校	全校	全校	全校	全校

出展・調査方法等

①びわ湖フローティングスクール事業（昭和58年より実施）・・・県下全ての小学校および特別支援学校を対象に実施
②森林環境学習「やまのこ」事業（平成19年より実施）・・・県下の小学校４年生および特別支援学校が対象
平成20年度　202校　平成21年度　241校　平成22年度　243校
平成23年度　242校　平成24年度　243校　平成25年度　243校
平成26年度　242校　平成27年度　239校
③田んぼの学校推進事業（たんぼのこ）（平成14年より実施）・・・県下の小学校を対象に実施。事業は各市町で実施される（自治振興交付金事業）

備考

びわ湖フローティングスクール事業：教育委員会高校教育課所管
森林環境学習「やまのこ」事業：琵琶湖環境部森林政策課所管
田んぼの学校推進事業：自治振興交付金事業（県からの補助金を受け、市町において実施される）

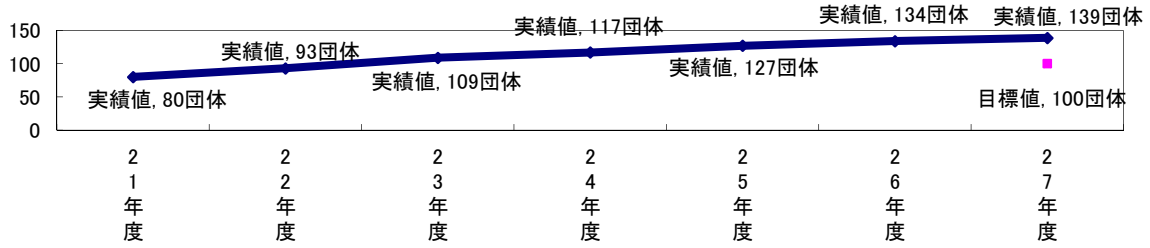
この指標に関連するデータ

平成26年度　県内の小学校数　230校、特別支援学校　16校（長浜高等養護学校・甲南高等養護学校・愛知高等養護学校は小学部なし）
※滋賀大附属小学校は県内の小学校・特別支援学校どちらでもカウント。
平成27年度　県内の小学校数　227校、特別支援学校　16校（長浜高等養護学校・甲南高等養護学校・愛知高等養護学校は小学部なし）
※滋賀大附属小学校は県内の小学校・特別支援学校どちらでもカウント。

指標と連動する施策

県内全ての小学生を対象とした滋賀の水、山、田に関わる文化体験学習の実施

重点施策3	しがこども体験学校参加団体数(⑧)



評価指標の説明	目標値の説明
文化施設、NPO等の各団体による子どもたちの体験学習環境の整備状況を表す指標。	子ども・若者プランの数値目標に準じて100団体に設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	93団体	109団体	117団体	127団体	134団体	139団体	100団体

出展・調査方法等

滋賀県健康医療福祉部策定の子ども・青少年局子ども・若者プラン数値目標

備考

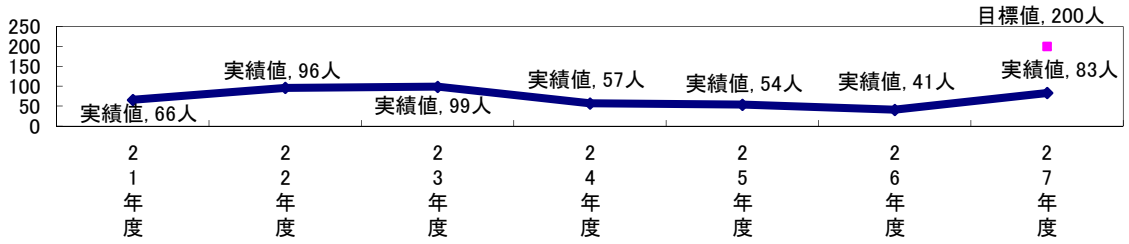
しがこども体験学校：健康医療福祉部子ども・青少年局所管　参加団体が県内全小学生を対象に体験活動の場や社会的経験の機会を提供する取組。参加団体は登録制。
県から施設、企業、NPO等の各団体に案内を送付して参加を呼びかけている。平成24年度からはリーフレットを作成し公民館、児童館、博物館、高校等への配布しており、これが参加者の増加につながっているものと思われる。
健康医療福祉部子ども・青少年局所管

この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

子ども向け体験プログラムの充実

重点施策4	滋賀県芸術文化祭（文学祭、美術展、写真展）における若者（30歳未満）の参加者数(⑨)



評価指標の説明	目標値の説明
県が主催する芸術文化祭においてどの程度若者（30歳未満）が参加しているのかを示す指標。	芸術祭主催事業への若者の参加を促進する取組を充実することで平成27年度に全体参加者（およそ2,000人）の約10%となる200人の参加を目標として設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	96人 （4.7%）	99人 （4.9%）	57人 （3.0%）	54人 （2.9%）	41人 （2.0%）	83人 （4.0%）	200人

出展・調査方法等

滋賀県芸術文化祭参加者内訳
①文学祭＜H22＞1,167人（若者6人）→＜H23＞1,141人（若者15人）→＜H24＞1,067人（若者12人）→
＜H25＞999人(若者10人)→＜H26＞878人(若者11人)→＜H27＞905人(若者12人)
②美術展＜H22＞575人(若者86人)→＜H23＞577人（若者80人）→＜H24＞556人（若者44人）→
＜H25＞530人（若者43人）→＜H26＞502人(若者27人)→＜H27＞565人(若者67人)
③写真展＜H22＞300人（若者4人）→＜H23＞293名（若者4人）→＜H24＞302人（若者1人）→
＜H25＞307人（若者1人）→＜H26＞672人(若者3人)→＜H27＞591人(若者4人)

備考

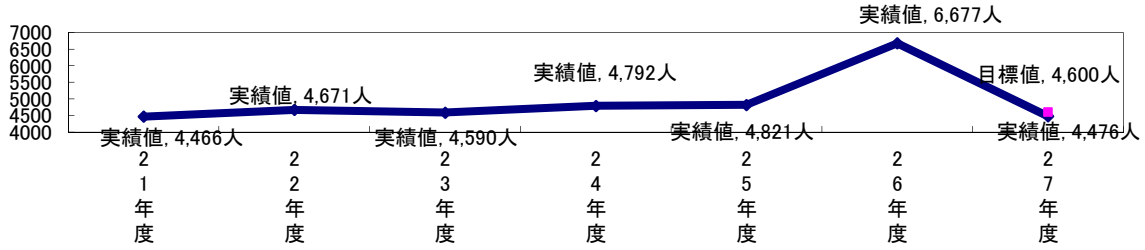
H24年度からは20歳以下を対象としたヤング写真展を同時開催（滋賀県写真連盟主催）
→H24：11人参加、H25：43人参加、H26：63人参加、H27：59人参加

この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

若者を含め多くの県民が参加できる滋賀県芸術文化祭の開催

重点施策4	滋賀県高等学校総合文化祭の参加者数(⑩)



評価指標の説明	目標値の説明
県内高等学校における文化部の活動の状況を示す指標。	現状の数値よりの向上を目指して取り組む。平成27年度には微増の4，600人に目標を設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	4,671人	4,590人	4,792人	4,821人	6,677人	4,476人	4,600人

出展・調査方法等

滋賀県高等学校総合文化祭事業報告の各部会事業（合唱、吹奏楽、日本音楽、演劇、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、新聞、自然科学、小倉百人一首かるた、器楽・管弦楽、郷土芸能、弁論、文芸）の参加生徒数（滋賀県高等学校文化連盟事務局所管）

備考

平成23年度減少理由：美術・工芸部会において参加者数の集計方法を変更したため。→「出品者数+観覧者の概数」から「出品者数」に変更

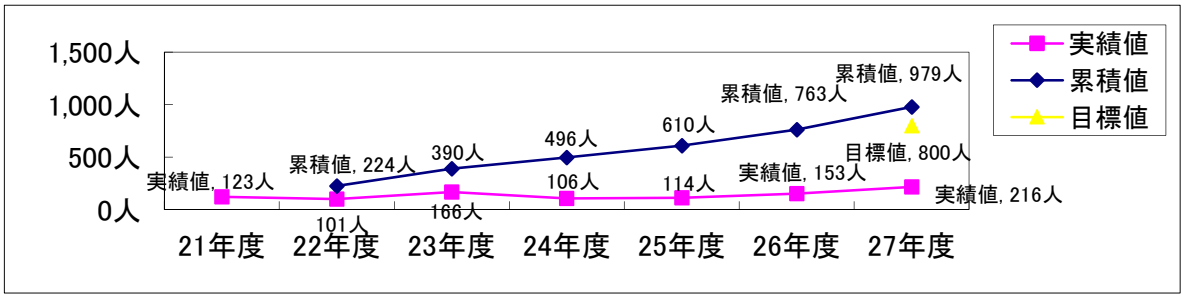
この指標に関連するデータ

県内高等学校の滋賀県高等学校文化連盟の部員数
（H22）5,111人→（H23）5,538人→（H24）5,797人→（H25）5,740人→（H26）5,745人→（H27）5,717人
滋賀県高等学校文化連盟に部会を設置していない「その他（社会問題研究、茶道、華道、茶華道、コンピューター、英会話）」を含めた総数
（H22）7,544人→（H23）7,991人→（H24）8,005人→（H25）8,075人→（H26）7,835人→（H27）7,936人

指標と連動する施策

滋賀県高等学校総合文化祭等の開催

重点施策5	アートマネジメント研修の受講者数(⑪)



評価指標の説明	目標値の説明
文化行政職員や文化施設職員を対象に実施しているアートマネジメント研修の実施状況を示す指標。	受講者が県内公立文化ホール、民間ホール、博物館・美術館、民間文化施設、県内地方公共団体(合計140)の各施設・団体に5人以上いる状態を目標として目標値を800人に設定。

	実績値						目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
年間受講者	101人	166人	106人	114人	153人	216人	－
累積値	101人	267人	496人	610人	763人	979人	800人

出展・調査方法等

①公立文化施設協議会職員研修会参加者数(ｱｰﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ編、ﾃｸﾆｶﾙ･ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ編、ﾃｸﾆｶﾙ･ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ編)
②びわ湖ﾎｰﾙ舞台芸術マネジメントセミナー参加者数(基礎編、ステップアップ編)(H21のみ)
③地域文化コーディネーター＆文化ボランティアコーディネーター養成講座(H23～)　の集計を文化振興課にてとりまとめ
平成27年度に実施された研修
・びわ湖舞台芸術スタッフセミナー(アートマネジメント編)　69名
・地域文化コーディネーター＆文化ボランティアコーディネーター養成講座　147名

備考

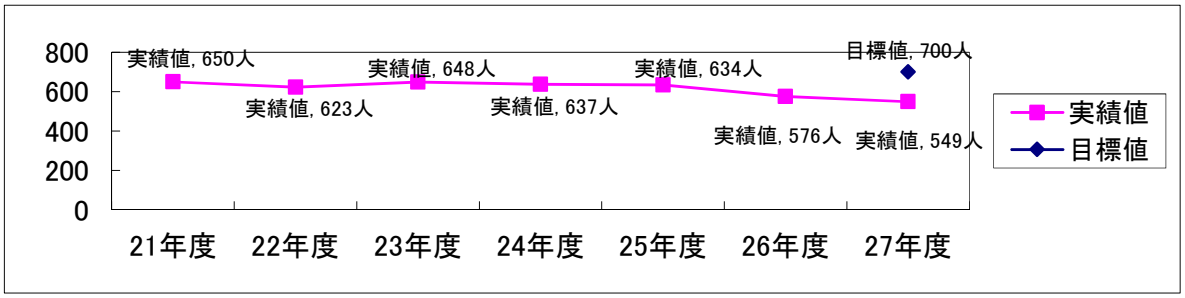
平成23年度より文化振興事業団の地域文化コーディネーター＆文化ボランティアコーディネーター養成講座が始まったため、この分を追加し、平成23年度の実績値を修正する(平成23年参加者数51名)。
修正前：年間受講者115人、累計値339人　　修正後：年間受講者166人、累計値390人

この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

文化行政職員や文化施設職員を対象としたアートマネジメント研修の実施

重点施策5	文化施設の文化ボランティアの数(⑫)



評価指標の説明	目標値の説明
県立文化施設において活動しているボランティアの合計値。自主的に文化活動を支える人材の活動状況を示す指標。	平成21年度の指標からの向上を目指す。次世代文化芸術センターのボランティアを中心に50人程度の増を目標として設定。

	実績値						目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
年間受講者	623人	648人	637人	634人	576人	549人	700人

出展・調査方法等

①琵琶湖博物館「はしかけ」②近代美術館「美術館サポーター」③しが文化芸術学習支援センター（H23年度～滋賀次世代文化芸術センター）④びわ湖ホール劇場サポーターの参加人数の合計値を文化振興課にてとりまとめ

文化ボランティア内訳
①琵琶湖博物館はしかけ＜H21＞371人→＜H22＞300人→＜H23＞349人→＜H24＞356人→＜H25＞333人
→＜H26＞296人→＜H27＞321人
②近代美術館サポーター＜H21＞94人→＜H22＞99人→＜H23＞99人→＜H24＞110人→＜H25＞108人
→＜H26＞104人→＜H27＞103人
③滋賀次世代文化芸術センターボランティア登録者＜H21＞92人→＜H22＞108人→＜H23＞80人→＜H24＞58人
→＜H25＞86人→＜H26＞110人→＜H27＞82人
④びわ湖ホール劇場サポーター＜H21＞93人→＜H22＞116人→＜H23＞120人→＜H24＞113人→＜H25＞107人
→＜H26＞66人→＜H27＞43人

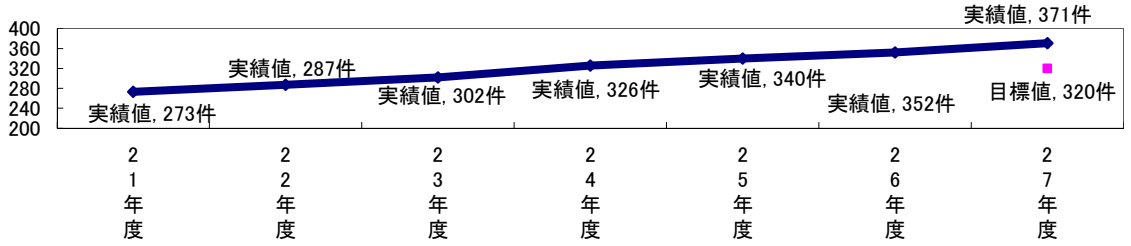
備考

この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

文化ボランティア拡充および活動の促進

重点施策6	国有形文化財の登録件数(⑬)



評価指標の説明	目標値の説明
県内の国登録有形文化財の登録件数により歴史的建造物の保存の取組状況を示す指標。	過去の伸び率を勘案して年間8件程度の登録があると見込み、平成27年度の目標を320件に設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	287件	302件	326件	340件	352件	371件	320件

文化財保護法第57条第１項により文化庁の文化財登録原簿に登録されている登録有形文化財の件数

備考

国登録有形文化財：建造物で建築後50年を経過したもののうち、歴史的景観に寄与するもの等を登録する制度
教育委員会文化財保護課所管

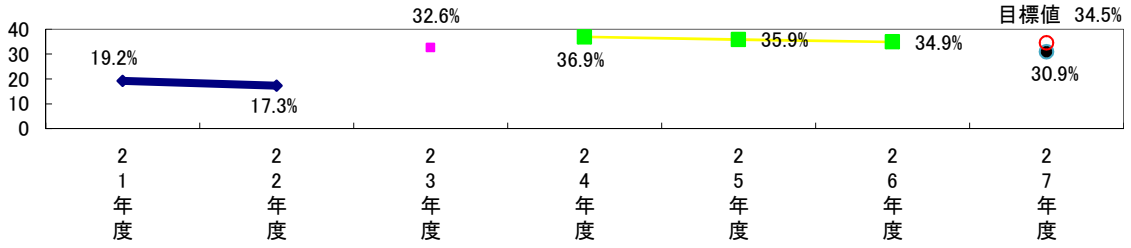
この指標に関連するデータ

全国登録数累計10,670件（平成２８年７月１日時点、文化庁HPより）

指標と連動する施策

国宝等の指定文化財や登録文化財等の保存と公開

重点施策6	平成21年～22年「個性ある地域文化の構築」の施策に満足したと回答した県民の割合 平成23年度～「地域の伝統文化や、美術や音楽、演劇などの芸術文化に親しめる環境整備」の施策に満足したと回答した県民の割合(⑭・⑰)



評価指標の説明	目標値の説明
県の文化振興施策に対する満足度を示す指標。 ・平成23年度に選択肢が「個性ある地域文化の構築」から「地域の伝統文化や、美術や音楽、演劇などの芸術文化に親しめる環境整備」へ変更。 ・平成24年度に選択肢が「地域の歴史や文化を活かし、さまざまな芸術文化に親しめるまちづくり」へ変更。 ・平成27年度に選択肢が「文化やスポーツを楽しめるまちづくりの施策に満足した県民の割合」へ変更。	平成23年度の数値よりも向上を図る。当面の数字目標として、施策に満足した県民の割合を年間0.5ポイントの上昇を見込んで、平成27年度の目標値を34.5%に設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
「個性ある地域文化の構築」に満足したと回答した県民の割合（H21～H22）	17.3%	―	―	―	―	―	
「地域の伝統文化や、美術や音楽、演劇などの芸術文化に親しめる環境整備」の施策に満足したと回答した県民の割合（H23）	―	32.6%	―	―	―	―	
「地域の歴史や文化を活かし、さまざまな芸術文化に親しめるまちづくり」の施策に満足したと回答した県民の割合（H24～）	―	―	36.9%	35.9%	34.9%	―	
「文化やスポーツを楽しめるまちづくり」の施策に満足したと回答した県民の割合（H27）	―	―	―	―	―	30.9%	34.5%

出展・調査方法等

県政世論調査における設問、「現在の県の施策に対してあなたはどの程度満足していますか。1～27 のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中からあなたの満足度合いに最も近いものを1つ選んでください」において、該当する選択肢を選択した割合。年度ごとに選択肢に用いる文言が異なっており、年度間の比較が難しくなっている。

県政世論調査:県内在住満20歳以上の3,000人(選挙人名簿および外国人登録原票より無作為抽出)に対する調査票調査

備考

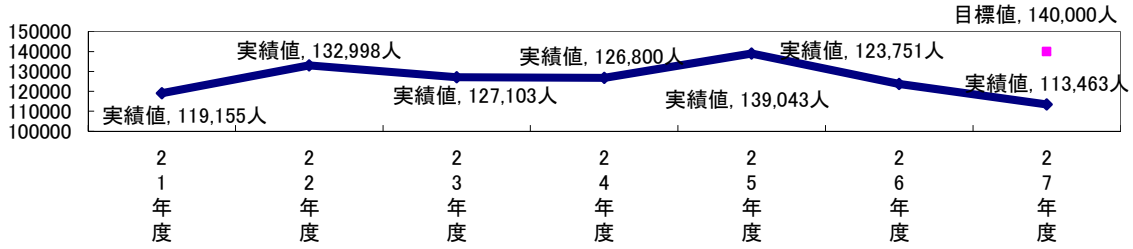
県政世論調査：県内在住満20歳以上の3,000人（選挙人名簿および外国人登録原票より無作為抽出）に対する調査票調査。上記の設問項目は毎年実施される。

この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

※アウトカム指標と考えている

重点施策7	県立文化ホールの自主事業入場者数(⑮)



評価指標の説明	目標値の説明
びわ湖ホール、しが県民芸術創造館、文化産業交流会館における自主事業の入場者数、県立ホールにおける自主事業の取組状況を示す指標。	平成21年度の数値よりも向上を図る。目標として140,000人を設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	132,998人	127,103人	126,800人	139,043人	123,751人	113,463人	140,000人

出展・調査方法等

各館の自主事業の入場者数の合計を文化振興課において集計

自主事業入場者数内訳
びわ湖ホール＜H22＞86,828人→＜H23＞99,322人→＜H24＞92,543人→＜H25＞99,191人→＜H26＞92,257人
→＜H27＞95,445人
しが県民芸術創造館＜H22＞24,893人→＜H23＞17,920人→＜H24＞18,403人→＜H25＞21,286人
文化産業交流会館＜H22＞21,277人→＜H23＞9,861人→＜H24＞15,854人→＜H25＞18,566人→＜H26＞31,494人
→＜H27＞18,018人

備考

○びわ湖ホール　自主事業公演入場者アンケート「大変良かった」「良かった」の合計割合
　94．2%
○しが県民芸術創造館　自主事業入場者アンケート「たいへん満足」「満足」の合計割合
　85%
○文化産業交流会館　自主事業入場者アンケート「たいへん満足」「満足」の合計割合
　79%

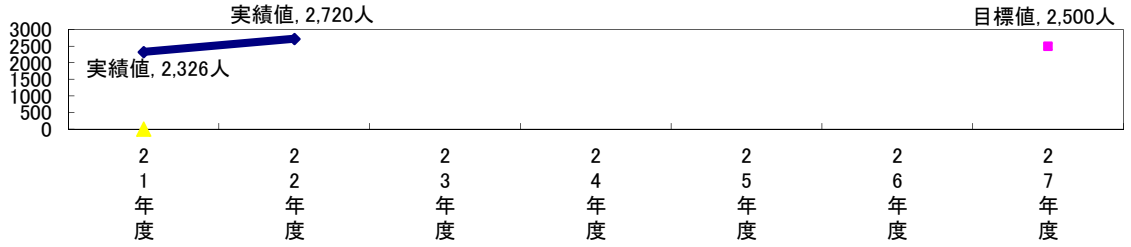
この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

県立文化ホールにおける優れた舞台芸術の創造と県民への提供

県立文化ホールに「芸術監督」等の専門人材を配置

重点施策7	県内に在住する芸術家の数(⑯)



評価指標の説明	目標値の説明
新たな文化的資産の創造の核となる県内に在住する芸術家の人数の状況を把握する指標。	現状よりも向上を図ることを目標する。重点施策7の取組を実施することで向上を図る。数字目標として1割程度増となる2500人を設定。

実績値							目標値
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	2,326人（平成17年度）	2,720人					2,500人

調査方法

国勢調査は5年ごとに実施

平成17年度国勢調査
「抽出調査票による就業者の産業（小分類）、職業（小分類）など」より、43文芸家、著述家　45彫刻家、画家、工芸美術家　46デザイナー　47写真家　48音楽家　50俳優、舞踏家、演芸家の合計。

平成22年度国勢調査
「抽出調査票による就業者の産業（小分類）、職業（小分類）など」より、53著述家　55彫刻家、画家、工芸美術家　56デザイナー　57写真家、映像撮影者　58音楽家　59舞踏家、俳優、演出家、演芸家の合計。

備考

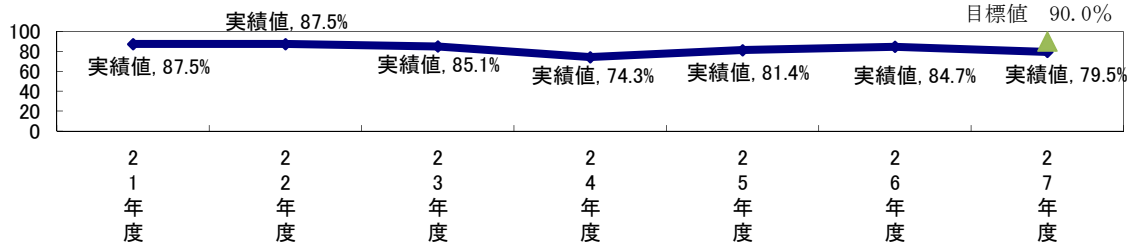
この指標に関連するデータ

全県、人口類似県および近隣他府県の人口および芸術家の数
全県総数：(12,810万人) 375,040人 [約0.29%]
滋賀県：(141万人) 2,720人 [約0.19%]
青森県（137万人）1,350人 [約0.10%]　京都府（264万人）9,640人 [約0.37%]　奈良県（140万人）3,040人 [約0.22%]
和歌山県（100万人）1,440人 [約0.14%]
長崎県（143万人）1,760人 [約0.12%]　沖縄県（139万人）2,690人 [約0.19%]

指標と連動する施策

文化施設における芸術家等との連携の促進

重点施策8	滋賀県の文化を誇りと感じている人の割合（県政モニターアンケート等）（⑱）



評価指標の説明	目標値の説明
滋賀の文化を誇りとして感じている人の割合を示す指標。	もともと高水準の数値であるが、基本方針に掲げている重点施策を実施することにより、毎年0.4%程度増加させることを目標として設定。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
県政モニターアンケート	87.5%	85.1%	74.3%	81.4%	84.7%	79.5%	90.0%
県政世論調査				93.5%			90.0%

出展・調査方法等

県政モニターアンケート調査
「滋賀県には、国内外に誇ることができる文化（多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など）があると思いますか。」の設問に「ある」と回答した割合。

平成22年度　モニター194名（回答者168名）　　平成27年度　モニター398名（回答者342名）
平成23年度　モニター353名（回答者295名）
平成24年度　モニター360名（回答者257名）
平成25年度　モニター399名（回答者322名）
平成26年度　モニター396名（回答者301名）

備考

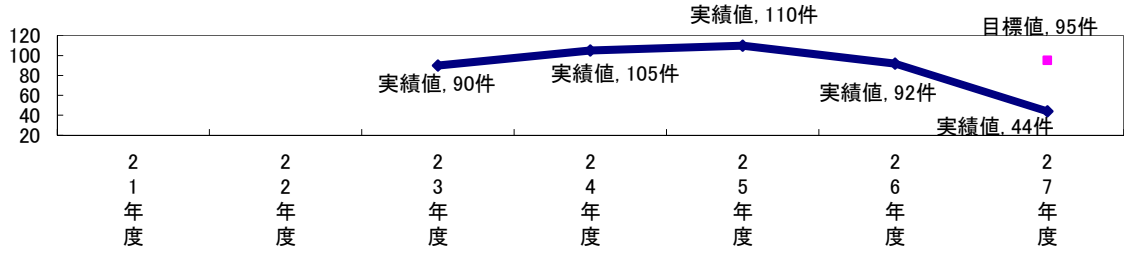
この指標に関連するデータ

平成25年度県政世論調査において同様の主旨の設問を実施
「滋賀県には、国内外に誇ることができる文化（多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など）があると思いますか。誇ることができる文化について、当てはまるものを選んでください。」
設問に対して「特にない」「わからない」回答した割合　6.4%
「不明・無回答」と回答した割合　2.4%

指標と連動する施策

※アウトカム指標と考えている

重点施策8	新聞（滋賀県版以外）において滋賀県の文化事業に関する記事が掲載された件数（⑲）



評価指標の説明	目標値の説明
新聞各紙において、県外版においても掲載されている滋賀県の文化事業に関する記事の件数により、県外に対する発信の状況を測る指標。	平成23年度より測定を開始し、前年度より数値を向上させることを目標とする。平成23年度比5%の向上を目指し目標値を設定する。

実績値							目標値
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度
	－	90件	105件	110件	92件	44件	平成23年度より5%向上→95件

出展・調査方法等

・平成27年度内容別内訳
県事業（新生美術館等） 1件
近代美術館（浮世絵に描かれた子どもたち、志村ふくみ展－自然と継承－」ほか各展覧会） 15件
びわ湖ホール（オペラ公演、ラ・フォル・ジュルネ、声楽アンサンブル等） 13件
その他（陶芸の森展覧会、琵琶湖博物館展示等） 15件

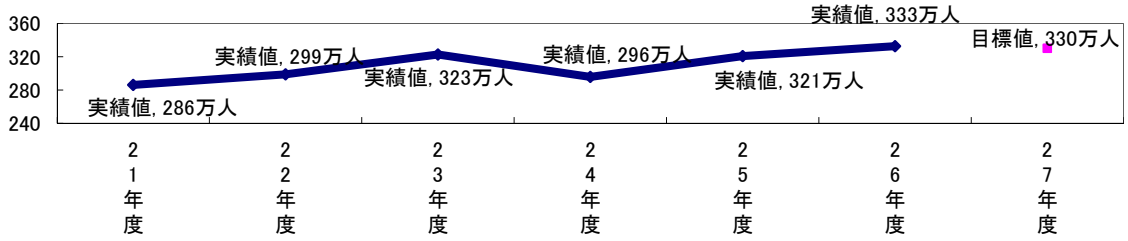
備考

この指標に関連するデータ

指標と連動する施策

マスコミやインターネット媒体を通じた効果的な情報発信

重点施策8	観光客宿泊日数（1月～12月）（⑳）



評価指標の説明	目標値の説明
一年間に滋賀県に宿泊した観光客数（1月～12月）。	滋賀県商工観光労働部観光交流局において策定している「新・滋賀県観光振興指針 近江の誇りづくり観光ビジョン」において観光客宿泊者数の目標値を2013年に330万人と設定しているため、当面はその目標値を設定。

実績値							目標値
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	286万人	299万人	323万人	296万人	321万人	333万人	330万人

出展・調査方法等

滋賀県商工観光労働部観光交流局において実施している滋賀県観光入込客統計調査書より抜粋

備考

目標値の330万人は県内の宿泊稼働率の約50%に相当。

この指標に関連するデータ

延観光客者数　＜H23＞47,357千人
　　＜H24＞44,191千人
　　＜H25＞45,227千人
　　＜H26＞46,329千人
目的別内訳
「歴史、文化」＜H23＞25,7%　12,187千人　　＜H26＞26.0%　12,023千人
　　＜H24＞25,5%　11,268千人
　　＜H25＞25,1%　11,353千人

指標と連動する施策

歴史文化資産を活用した観光振興

文化的資産や文化施設を活用した観光ルートの開発・紹介